



(県内初) プロボノチャレンジ MATSUDO 2017 の実施について

松戸市では、住民主体の介護予防に資する活動を推進し、さらにその介護予防の効果について科学的根拠を千葉大学予防医学センターと共に研究するため、「松戸市と国立大学法人千葉大学予防医学センターとの介護予防に資する活動等の共同研究プロジェクトに関する協定」を平成 28 年 11 月 2 日に締結し、都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」を取り組み始めました。

本プロジェクトでは、全国に先駆けた都市型の介護予防モデルの創出を目指し、幅広く住民が、多種多様な地域活動やボランティア活動に参加することで、年齢を問わず元気に暮らせるまちづくりを全体で推進し、併せて介護予防効果を検証します。

今回、その一環として、新たに「プロボノ」チャレンジを実施し、高齢者を含む様々な方の活躍の場と機会を広げ、かつ地域活動団体や NPO の活動を支援します。

1 プロボノとは

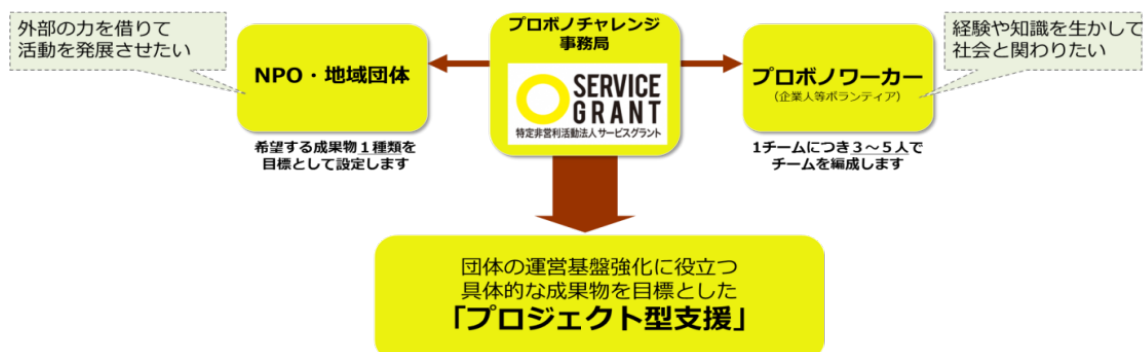
「公共善のために」を意味するラテン語に由来する言葉で、「社会的・公共的な目的のために、仕事で培った経験やスキルを活かすボランティア活動」のことを意味します。

Pro	For	～のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

2 概要

企業人や退職後の人等のプロボノワーカーが 3～5 人のチームとなって約 1 か月間で、松戸市内の地域活動団体等の問題・課題を解決し、団体のステップアップを図る県内初の新しい取り組みです。

支援する側・支援される側の双方が、最も効果的に連携できるよう、目標を明確に設定し、具体的かつ実用性の高い成果物を提供とする無償による「プロジェクト型支援」を行います。





3 今後のスケジュール

(1) オリエンテーション

- ・日時 7月15日(土) 10:00~12:00
- ・場所 松戸市役所議会棟3階特別委員会室
- ・対象 プロボノワーカーのみ
- ・内容 チームメンバーの初顔合わせ
(支援希望団体の活動概要や課題や成果物への期待をチームで確認し、支援先への質問をまとめます。)



(2) キックオフイベント

- ・日時 8月5日(土) 13:30~16:00
- ・場所 松戸市役所議会棟3階特別委員会室
- ・対象 プロボノワーカー・支援希望団体
- ・内容 支援先団体とプロボノチームの初顔合わせ
(団体の活動に対する理解を深めたり、成果物作成に向けた進め方を話し合います。)



(3) 成果提案ミーティング

- ・日時 9月9日(土) 13:30~17:30
- ・場所 松戸市民会館301号
- ・対象 プロボノワーカー・支援希望団体
- ・内容 成果物の報告・提案
(他のチームとも相互に報告しあい、成果を共有します。)

チームごとの作業

チームごとに作業プランを考え、成果物の実現に向けて作業します。

作業期間：約1か月間

※5~6月にかけて説明会を4回開催後、プロボノワーカー及び支援希望団体を松戸プロジェクト特設サイト (<http://matsudo-project.com>) にて募集し、現在、チーム編成及び具体的な目標設定のため、登録いただいた方へヒアリングを実施中です。

4 プロボノチャレンジ事務局

認定特定非営利活動法人サービスグラント

※「松戸市と国立大学法人千葉大学予防医学センターとの介護予防に資する活動等の共同研究プロジェクトに関する協定」において千葉大学が選定した研究協力者

【問い合わせ先】福祉長寿部 介護制度改革課

☎047-366-4101

さらに活動を充実・発展させたいと考える地域団体・NPOのみなさまへ

プロボノ チャレンジ MATSUDO 2017

支援を希望する
地域団体・NPOを
募集します！

説明会
開催！

実施期間：2017年8月5日(土)～9月9日(土)

仕事で培った経験やスキルをいかしたボランティア活動を
活用して活動のステップアップを図ってみませんか？



支援メニュー

利用者や仲間をもっと増やしたい、経費清算や支払業務をもっと分かりやすく効率化したい、誰でも簡単に業務が行えるようなマニュアルが作りたい…そのような困りごとに企業等で経験を積んだボランティアチームが解決に取り組みます！

～こんなご支援が可能です！～

総務支援
会則・規約の整備、議事録の作成等

経理支援
経理業務の簡素化、決算資料の整理・作成等

広報支援
参加者募集用チラシ作成等

運営支援
マニュアル作成、事務の効率化等

プロボノとは？

プロボノとは、「公共善のために」を意味するラテン語に由来する言葉で、「社会的・公共的な目的のために、仕事で培った経験やスキルを活かすボランティア活動」を意味します。



松戸プロジェクト

仕事の経験やスキルを活かしたボランティアによる支援(プロボノ)を活用してみませんか？ ※プロボノとは職業上の専門知識を活かして取り組むボランティア活動のことです。

- 団体の活動に役立つ、具体的な成果を目指してチャレンジしていきます。
- 企業人をはじめ外部の視点を取り入れることで、新鮮なアイデアや発想を取り入れることができます。
- ビジネスのノウハウや経験をいかしたサポートを無償で受けられる貴重なチャンスです。

プロボノチャレンジMATSUDOの流れ

キックオフミーティング



支援先団体とプロボノチームの初顔合わせ。団体の活動に対する理解を深めたり、成果物作成に向けた進め方を話し合います。

開催予定日：8月5日（土）

チームごとの作業



チームごとに作業プランを考え、成果物の実現に向けて作業します。
作業期間：約1か月間

成果提案ミーティング



成果物の報告、提案を行います。他のチームとも相互に報告しあい、成果を共有します。最後に、ささやかな仕上げ・交流も。

開催予定日：9月9日（土）

説明会開催

市内で3回説明会を開催します。サポートを受けてみたい地域団体・NPOのみなさま、プロボノに興味のある方、身近な地域活動・NPOに関わってみたいみなさま、お気軽にお越しください！

◆日時

5月30日(火) 15:45～16:45

6月 1日(木) 10:30～12:00

6月 1日(木) 19:30～21:00

◆会場

松戸市民劇場ホール

(松戸市本町1-1-6)

松戸市民会館301号

(松戸市松戸1-3-89-1)

FANCLUB

(松戸市本町20-10)

◆定員

先着250名

先着100名

先着 30名



説明会参加申込はこちら

(参加費無料・要事前申し込み)

<http://bit.ly/matsudo17>

FAX
お申込フォーム

047-366-4102

※松戸市内に活動拠点を置く地域団体・NPOが支援対象です



所属団体名(あれば)：

電話番号：

お名前：

メールアドレス：

参加を希望する説明会を選択してください

- 5月30日(火) 15:45～16:45 松戸市民劇場ホール
- 6月 1日(木) 10:30～12:00 松戸市民会館
- 6月 1日(木) 19:30～21:00 FANCLUB

当てはまるものを選択してください

- プロボノ活動による支援を受けたい
- プロボノ活動への参加に興味がある
- その他

松戸プロジェクト

～地域包括ケアの都市型介護予防モデルの開発～

1. 目的

少子高齢化の進展に伴い、今後の高齢者の増加による介護需要の増加、一方介護人材不足するなど供給が安定しないことから、既存の社会関係資源を活用し、積極的に需要を抑制することが可能であり、健康寿命を延伸することが、介護費用を抑制することが可能であることをエビデンス（根拠）を持って、標準モデルを確立する。

2. 地域の選定

既に、人口4万人の愛知県武豊町で一次介護予防を意図し、一般高齢者を対象として、ポピュレーション（全体）戦略に立ってソーシャル・キャピタル（社会関係資源）に着目する地域介入研究を行い、「自立期間の延伸による、認定率の抑制」という成果が出ていますが、地域の特性が異なる地域、特に都市部においてはソーシャル・キャピタルの状況が異なることから、「どの都市でもとりくめるような標準的な介護予防モデル」を構築し、普及するための研究である。

これまで、JAGESは2010年度より「健康と暮らしの調査」により全国30市町村10万人超の高齢者の皆様からご協力が得られたことで、健康格差の実態やハイリスク戦略の限界、地域づくりによる介護予防の科学的根拠を提示することや、また、地域包括ケア“見える化”システムのプロトタイプ（模範）の開発などの研究成果を上げてきたが、今年度の調査に松戸市が参加することになった。

松戸市は、平成27年4月より、全国に先駆け介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、介護予防を推進するために昨年10月より短期集中予防サービスを開始するとともに、モデル的に住民主体の一般介護予防に取り組み始めていること。

さらに、平成25年に松戸市と千葉大は「包括的な連携に関する協定」を締結し、相互に人的支援を活用し、地域社会の発展と人材育成を目指していることから、共同研究を行うことにした。

3. 目指す成果

- ① 住民主体の活動が自立期間の延伸に寄与することのエビデンス化
- ② 標準的な住民主体の活動モデル化
- ③ 企業・団体の協力により、一層効率的なシステムの構築

4. 調査期間

平成28年度	準備・立ち上げ（JAGES調査等による基礎情報の収集、協力者の募集）	}	技術支援・効果測定
29年度	住民主体の実施・支援		
30年度	〃		
31年度	〃		

5. 役割分担・想定費用

- ① 松戸市：住民主体の活動への間接支援（調査・育成費）
- ② 千葉大：計画立案・技術支援・評価支援（技術支援・評価費）※研究費を申請
- ③ 協力者：人的・物的支援を公募

6. 民間事業者の効果測定

スポーツクラブ等の民間事業のプログラムを評価し、健康との相関の調査も合わせて実施を検討していく。

今後、介護サービス以外にも有効な方策を見出し、自立支援の一助につなげられる機会を構築していく。

